

「ALTの先生とマフィンを作ったよ！」

10月26日（土）、公民館において「国際交流ふれあい in 砂川Ⅱ」が行われました。参加者は子ども18名、大人7名の計25名。砂川市ALT（外国語指導助手）のバンサリ先生、ジュリア先生に加えて空知管内の市町からALTやCIR（国際交流員）が6名も集まってくれました。

今回はALTのジュリア先生が出身のカナダで暮らしているときからよく作っているバナナマフィンのレシピを教えてもらい、一緒に作りました。最初は緊張した様子の子もたちもだんだんと打ち解け、卵を割ったり、バナナを手で潰したりしてみんなで協力して調理を楽しんでいました。

交流タイムでは、英語を使った「フルーツバスケット」をしたり、カプラを積み上げたりしてコミュニケーションが広がる様子が伝わってきました。



～自己紹介タイム～



～フルーツバスケット～

～マフィンづくりの様子～



国際交流ふれあい委員ってなに？

国際交流事業を盛り上げている「国際交流ふれあい委員会」は、現在5名の市民の方々に活動しています。

ALTと一緒にどんな遊びをしたら楽しく外国語を使って交流できるか、どんなものを作ったら子どもたちが楽しく活動できるかを考え、打ち合わせや試作を重ね、当日の運営に携わっています。

子どもたちと一緒に外国の方とふれあいたい！外国語を使って遊びたい！そんな興味のある方は、ぜひ社会教育課（Tel 74-8379）までお問い合わせください！



～国際交流ふれあい in 砂川Ⅱの
マフィンを試作している様子～